

2012 年春闘宣言

野田政権は、東日本大震災の復興と日本経済の再生を口実として、消費税の増税を含む税と社会保障改悪を強行しようとしています。憲法改悪への動きの中で、官僚の沖縄入りを繰り返して、沖縄県民の気持ちを全く考えていない米軍基地建設を辺野古・高江へ強引にすすめようとしています。まったく骨抜きの内容となった労働者派遣法の改悪を成立させようとしています。

TPP 交渉参加の問題は、農業・医療・雇用の破壊をすすめるだけではなく、農薬や添加物の規制緩和の可能性で食の安全が守れず、生協の事業と存在を大きく揺るがす問題です。同時に、TPP 交渉への参加を、消費税増税とともに海外の地で勝手に約束し、民意を無視して強引にすすめようとしていることは言語道断です。このような政治の流れを変えていかなければなりません。

原発の問題では、東京電力福島第一原子力発電所事故の収束をされない中、いまだに危険な状態であるにも関わらず、年内にも冷温停止を宣言しようとしています。九州電力は地元の声を無視し、玄海原発の再稼働をすすめています。一方で、これを許さない運動も各地で起こっています。原発問題では「9.19 さようなら原発集会」、「なくせ原発 10.30 大集会 in ぶんくしま」など、全国各地で原発ゼロをめざす集会がおこなわれています。なかまの声を集め、なかまといっしょに世の中を変えていきましょう。

今年の最賃闘争では、中央最低賃金審議会の目安が A ランクを除くすべての地域で 1 円という低額で出されましたが、各地の奮闘で答申をこえる額での最賃改定を実現させました。しかし、さらに地域格差が広がったことも事実です。2012 年春闘では、すべての単組が切実な要求として「時給 1,000 円の実現」を掲げ、最賃大幅引き上げのたたかひの先頭に立って、だれでもどこでも最賃 1,000 円以上の実現に向けて力を合わせましょう。

雇用は「無期雇用と均等待遇」が原則です。現行のパート法では、生協で働くパートのなかまの処遇改善にはつながりません。職場や分会で学習活動をし、署名活動も行って、パート法の抜本改正、有期労働規制を求めていきましょう。

2011 年 3 月 11 日以降も、全国の生協で働くなかまは、震災からの復興や被災生協への支援など、各地で大奮闘しています。そこでの奮闘は、全国各地で生協の社会的役割と存在価値を高めました。一方で職場では、パワハラ・セクハラ・メンタル不全・長時間労働・そして、サービス残業がなくなり、働きづらい職場になっています。健康で安全に働けるように、それらを根絶させましょう。

2012 年春闘は、これからの日本の国のあり方、労働者の未来を決める、歴史的な春闘です。賃上げ、最賃 1,000 円の実現で内需中心の経済、震災復興の実現を！パート法の抜本改正で均等待遇の実現を！すべての働くなかまにディーセントワークの実現を！そして、原発ゼロへ、消費税増税阻止、TPP 参加阻止、辺野古・高江に基地を作らせない、労働者派遣法の改正へ、そして「75,000 人の生協労連」をめざして、全力でたたかひ抜きましょう。